

FJC 協会主催 グループホーム「あおぞら」見学会 レポート

日 時 平成 22 年 9 月 25 日(土) 14 時～17 時

場 所 グループホーム「あおぞら」

参加者 8 名（「たまりば」のメンバー（天沼、永島、浅川、多賀）含む）

案 内 平川久美氏(「あおぞら」ホーム長)、斎藤祐子氏(一級建築士事務所 SITE 主宰)

FJC 協会主催(「たまりば」企画)のグループホーム「あおぞら」見学会が実施されました。FJC 協会主催としては今年 4 月 17 日の同じ敷地内の 3 施設(介護付き有料老人ホーム「芙蓉ミオ・ファミリア町田」、ふよう病院、グループホーム「あおぞら」)の見学会に引き続き 2 回目となります。

前日まで不順な天候でしたが当日はさわやかな秋晴れに恵まれ快適な見学会となりました。急な計画立案で参加人数はアテンドを含めて 8 人と少なかったのですが逆に落ちついてゆっくり見学することができました。

建物にはいろいろな仕掛け、工夫がしてあり興味深いものがありました。計画段階からこうあるべきという高い理念と詳細な検討がなされないと難しいと感じました。それは発注者の意図を組んだ設計者もしかりで、設計当時の常識を越えた大胆さも伺えました。計画段階から、スタッフ、高齢者、地域の人を巻き込み作り上げていった用意周到なスケジューリングが今日にあると思われまます。

このホームは中庭に特長があるとのこと。入居者にとって、中庭が 1 クッション、路地が 2 クッションになり、ゆるやかに外部環境につながる工夫がされています。そして、中庭は入居者の活動のほか、地域との交流の場にも積極的に活用され豊かな暮らしに欠かせない場となっているようです。また普段、入居者は中庭に人がいるのを建物の中から見ており、迎える準備に役立っているとのこと。

建物内のグループホームは 2 ユニット(それぞれ 9 室の個室)に分かれており、「桜」は居間の隣の和室を囲むように個室が並ぶプラン、「楓」は居間から個室に向かって廊下が 3 方向に伸びているプランと違いがある。その違いは建物の構造の違いから来ているとのこと(鉄筋コンクリートのラーメン構造と壁柱構造の違い)。「桜」、「楓」それぞれの入居者の行動は、そういった間取りの違いにも影響を受けていそうとの話しでした。

斎藤先生は、10 年後を見据えて設立された「あおぞら」がスタッフの努力により成長してきたのに、現在、設立建設されているグループホームは後退していると嘆かれていました(昔の公団住宅のように数を優先し質をないがしろにしており、あたかも収容施設となっている)。だからなのでしょう。先生が最後に、自分が認知症になり介護されるとしたら自宅よりもこの施設(あおぞら)がよいと言われたのが印象的でした。

(多賀 章)

斎藤さん(左から2人目)、市川さん(中央から丁寧な説明をして頂く。



グループホーム2つのユニットそれぞれに玄関がある。



靴を履き替えるのに意図的に段差(上がり框)を設けている。部屋こ上がる意識を認識させる。過剰なバリアフリーは入居者の意識、運動能力を低下させること、外出先ではバリアフリーでないので対応が難しくなるとのこと。



ボランティアの方により綺麗に整備された中庭。夏は日陰、冬は日向を求めて入居者が集まるとのこと。



「楓」の個室前の廊下は中庭に面している。

「桜」の居間・食堂から中庭が見える。入居者は中庭に人がいるのを見ており、迎える準備ができているとのこと。キッチン(奥に見える)は危険なので区切る施設が多いが、この施設では実験的にオープンから始めたとのこと(問題があれば後で区切ること考えた)。現状では8本の包丁が足りないくらいに活用されている。





小上がりとなっている和室。危険な箇所には家具を置き、できるだけ手すりを付けないようにしているとのこと。



右は浴室の木の浴槽。浴槽の設置高さは低く410mm、深さも460mmと浅い。奥にあるのは浴室からそのまま入れるトイレ。



和風旅館を思わせる木をふんだんに使った廊下や個室。明るさを抑えた暖かい色の照明の内装で、全体から『家』のぬくもりが漂う。自分の部屋の認識のため、壁の珪藻土の色をゾーン分けしている。柔らかい色の変化なのでうるさくない。廊下の目の高さには板が張っておりそこに入居者の作品が展示してある。



廊下の木製の手すり。断面が丸形の頼りない手すりではなく四角い形状のしっかりした手すり。握ることより滑り、支えを主としていると思われる。



個室の中を拝見させて頂いた。約10畳の広さにトイレ、洗面台、収納が備わっている。壁は珪藻土仕上げで、外には緑が見え落ちついて過ごせそう。



個室の扉は木製の引き戸。独特な形状の欄間があり、室内の明るさを認識できる。

個室外部のデッキ、前庭





屋上庭園。ボランティアの方の努力による見事な花壇がある。



建物の雨水を集めてタンクに貯水し池の水を循環している。



屋上の風力発電。中庭灯を点灯している。

屋根に設置してある太陽熱集熱パネル(OMソーラーシステム)。軒先から取り込んだ新鮮な外気が暖められる。



病棟天井下のダクト。太陽熱集熱パネルで暖められた空気がダクトを通して1階床下のコンクリート蓄熱層へ送られる。

床下から暖かな空気が吹き出される。

